

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 視能訓練士学科3年制 | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|--|-----------------------------|------|-----------------------|--------|
| 科 目 名 | 視能検査学実習Ⅱ | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | 学期及び曜時間 | 後期 | 教室名 | 7階実習室他 |
| 担 当 教 員 | 村上 裕美、吉田 美香 | | | | |
| 実務経験と その関連資格 | 村上 裕美 視能訓練士として総合病院、大学病院、眼科クリニックで、弱視・斜視検査、視能矯正訓練に従事した。 吉田 美香 視能訓練士として総合病院にて、弱視・斜視検査、視能矯正訓練に従事した。 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | |
| ①斜視の状態や分類を理解する。眼位検査の基礎を学ぶ。②大型弱視鏡検査を行い斜視、両眼視機能、眼球運動を理解する。③症例検討で様々な角度から症例を考え、臨床をより身近にする。 | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | |
| 定期試験80%、平常点(出席・提出物1・実技チェック)20% | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | |
| 図解眼科検査法、視能学第3版、視能学エキスパート 視能訓練学 | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | |
| 1年次に学習した斜視の基礎的な型をしっかりと復習しておくことで実習内容がより充実する。 実習授業時間内で解らなかったこと、疑問点は一度自分の検査記録をゆっくりと考える、教科書で調べることが大切である。 | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | |
| 眼位検査は視能訓練士業務の中でも検査頻度の高い検査です。正確な検査結果を導き出すには基礎学習と実践の積み重ねが必要です。 | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 授業を通じての到達目標 | 眼位検査の検査名と理論、検査手技が説明できる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼位検査①ヒルシュベルグ法、カバーテスト、眼球運動検査 | | | |
| 第2回 | 授業を通じての到達目標 | 定性眼位検査を主に、眼球の動きを理解する。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼位検査②CT、CUT、ACT | | | |
| 第3回 | 授業を通じての到達目標 | 定量眼位検査が行えるようになる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼位検査③SPCT、APCT | | | |
| 第4回 | 授業を通じての到達目標 | 定量眼位検査が行えるようになる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼位検査④SPCT、APCT | | | |
| 第5回 | 授業を通じての到達目標 | 大型弱視鏡で、斜視角測定ができる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 大型弱視鏡(O.A.、S.A.) | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|----------------------------------|---------|-----------------------------|
| 第6回 | 授業を通じての到達目標 | 大型弱視鏡で、斜視角測定ができる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 大型弱視鏡(O.A.、S.A.) | | |
| 第7回 | 授業を通じての到達目標 | 大型弱視鏡で、融像幅測定と立体視検査ができる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 大型弱視鏡検査(Fu.、St.) | | |
| 第8回 | 授業を通じての到達目標 | 日常視に近い網膜対応検査ができる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 大型弱視鏡検査の復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | バゴリーニ線条ガラス試験 | | |
| 第9回 | 授業を通じての到達目標 | その他の眼位検査の検査名と手技が分かる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 視能学第3版p333-336予習 |
| | 各コマにおける授業予定 | Maddox(正切尺、杆、rod) | | |
| 第10回 | 授業を通じての到達目標 | 回旋斜視定量検査の検査名と手技が分かる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 視能学第3版p333-336予習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 回旋定量検査(Maddox二重小杆、ニューサイクロテスト) | | |
| 第11回 | 授業を通じての到達目標 | プリズム融像幅測定の検査手順と理論が分かる。 | 教科書 | 視能学第3版p337-341復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | プリズム融像幅測定 | | |
| 第12回 | 授業を通じての到達目標 | その他の眼位検査の検査名と手技が分かる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 視能学第3版p333-336予習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 大型弱視鏡検査(O.A.、S.A.、 α 角測定) | | |
| 第13回 | 授業を通じての到達目標 | 大型弱視鏡による9方向眼位検査が分かる。 | 教科書 | 眼位検査の復習 視能学第3版p333-336予習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 9方向眼位検査① | | |
| 第14回 | 授業を通じての到達目標 | 大型弱視鏡による9方向眼位検査結果から麻痺筋を判定できる。 | 教科書 | 視能学第3版p337-341復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 9方向眼位検査② | | |
| 第15回 | 授業を通じての到達目標 | 眼位検査が実施できる 9方向眼位検査の結果判定ができる | 試験用実習道具 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 実技チェック、9方向眼位検査課題 | | |